

# 平成 1 8 年社会生活基本調査

結果の概要〔山梨県分〕

山梨県企画部統計調査課

(平成 1 9 年 1 2 月)

問い合わせ先

〒400-8501

山梨県甲府市丸の内 1 - 6 - 1

山梨県企画部統計調査課生活教育担当

電話 055-223-1345 Fax 055-223-1347

## 用語解説

### 〈生活行動に関わる用語〉

- 行動者数 …… 平成18年10月から遡って過去1年間に、該当する種類の活動（利用者数）（利用）を行った人（10歳以上）の数
- 行動者率 …… 10歳以上の人口に対する行動者数の割合（%）（利用者率）

### 〈生活時間に関わる用語〉

- 1次活動 …… 睡眠や食事等生理的に必要な活動
- 2次活動 …… 仕事や家事等社会生活を営むうえで義務的な性格の強い活動
- 3次活動 …… 上記以外で自由に使える時間における活動
- 総平均時間 …… 該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均時間

## ○ 調査の概要

平成18年社会生活基本調査は、国民の生活に関わり、インターネットの利用、学習、スポーツや趣味、ボランティアや旅行など、自由時間における諸活動の内容、及び生活時間の配分について調査し、国民生活の実態を明らかにすることにより各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、平成18年10月に実施した。昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、今回の調査で7回目にあたる。

調査の対象は、全国の世帯から無作為に選定した約80,000世帯（山梨県は1,464世帯）で、その世帯に普段住んでいる10歳以上の世帯員約20万人（山梨県は3,445人）について、調査基準日から遡って1年間の生活内容を調査した。（生活時間については、調査基準日を中心に調査）

この結果は、総務省統計局で公表されたもののうち、山梨県の部分について主なものを取りまとめたものである。

## ○ 結果の概略 [ ] 内は全国平均

### 〈生活行動関連〉

**1. インターネット** …… 行動者数（利用者数）は429,000人で、行動者率は54.9% [59.4%]。平成13年調査と比べて10.4ポイントの上昇。男性の行動者数は、221,000人、行動者率は、58.0% [62.5%]。女性の行動者数は、208,000人で、行動者率は、52.1% [56.5%] である。

山梨県の行動者率は、1位の東京都（70.8%）、2位の神奈川県（70.7%）を上位にして全国24位である。

**2. 学習・研究** …… 行動者数は271,000人で、行動者率は34.7% [35.2%]。平成13年調査と比べて1.5ポイントの低下。男性の行動者数は、127,000人、行動者率は、33.4% [34.4%]。女性の行動者数は、143,000人で、行動者率は、35.9% [36.0%] である。

山梨県の行動者率は、1位の東京都（43.8%）、2位の神奈川県（43.4%）を上位にして全国11位である。

**3. スポーツ** …… 行動者数は507,000人で、行動者率は64.9% [65.3%]。平成13年調査と比べて6.7ポイントの低下。男性の行動者数は、269,000人、行動者率は、70.6% [70.4%]。女性の行動者数は、238,000人で、行動者率は、59.5% [60.5%] である。

山梨県の行動者率は、1位の神奈川県（71.8%）、2位の埼玉県（69.5%）を上位にして全国17位である。

**4. 趣味・娯楽** …… 行動者数は652,000人で、行動者率は83.4% [84.9%]。平成13年調査と比べて1.4ポイントの低下。男性の行動者数は、319,000人、行動者率は、83.6% [85.2%]。女性の行動者数は、333,000人で、行動者率は、83.2% [84.6%] である。

山梨県の行動者率は、1位の神奈川県（89.3%）、2位の東京都（88.5%）を上位にして全国23位である。

**5. ボランティア活動** …… 行動者数は236,000人で、行動者率は30.2% [26.2%]。平成13年調査と比べて9.4ポイントの低下。男性の行動者数は、116,000人、行動者率は、30.5% [25.1%]。女性の行動者数は、120,000人で、行動者率は、30.0% [27.2%] である。

山梨県の行動者率は、1位の鳥取県（34.5%）、2位の島根県（34.0%）を上位にして全国18位である。

**6. 旅行・行楽** …… 行動者数は587,000人で、行動者率は75.2% [76.2%]。平成13年調査と比べて6.7ポイントの低下。男性の行動者数は、279,000人、行動者率は、73.2% [74.7%]。女性の行動者数は、308,000人で、行動者率は、77.1% [77.7%] である。

山梨県の行動者率は、1位の神奈川県（82.1%）、2位の滋賀県（81.8%）を上位にして全国21位である。

## 〈生活時間関連〉

**7. 一日の生活時間** …… 1次活動時間（男女平均）は10時間50分 [10時間37分]、2次活動時間（男女平均）は6時間56分 [7時間0分]、3次活動時間（男女平均）は6時間14分 [6時間23分] である。

平成13年調査と比べて、1次活動時間は横ばい、2次活動時間は増加し、逆に3次活動時間は減少している。2次、3次活動ともに男性の数値の増減が影響を及ぼしている。

**8. 睡眠時間** …… 1次活動の中の「睡眠時間」は、男女平均（週全体）で7時間51分 [7時間42分] であり、男性の方が長い。また、平日よりも日曜日の方が長時間であり、平成13年調査と比べて、ほとんど変化は見られない。

**9. 仕事時間** …… 2次活動の中の「仕事時間」は、男女平均（有業者、週全体）で6時間7分 [6時間9分] である。男性の有業者（週全体）は7時間1分 [7時間00分]、女性の有業者（週全体）は4時間59分 [5時間00分] となっていて、平成13年調査と比べて、いずれも大幅に増加している。曜日別では、女性の日曜日に変化がない以外は大幅に増加している。

**10. 家事関連時間** …… 2次活動の中の家事関連時間（家事、介護・看護、育児、買い物等）は、男女平均（週全体）で2時間2分〔2時間8分〕である。男性は36分〔38分〕、女性は3時間25分〔3時間35分〕と、依然男女間の差は大きいですが、平成13年調査と比べると、その差は縮小している。

曜日別の比較では、平日には男女ともに増加し、日曜日には男性は増加、女性は減少している。

**11. 自由活動時間** …… 3次活動の中の「新聞・雑誌・テレビ等の購読・鑑賞」は最も時間が長く、男女平均（週全体）で2時間20分〔2時間24分〕、次は「休養・くつろぎ」で1時間28分〔1時間25分〕、3番目が「趣味・娯楽」で39分〔45分〕となっている。

平成13年調査と比べて、3次活動全体では9分減少している。女性は変化がないが男性の減少が目立つ。項目別では、「新聞・雑誌・テレビ等の購読・鑑賞」が減少し、その一方で「休養・くつろぎ」が増加している。「趣味・娯楽」は、男性は減少、女性は増加している。

**12. 全国平均値との比較** …… 1次活動時間は、全国平均より13分長く、うち「睡眠時間」も9分長い。一方、2次活動時間（有業者）は12分短く、その中の「仕事時間」は、2分短くなっている。3次活動時間は9分短く、うち「テレビ等鑑賞」は、4分短い。

男女別の比較でも、男女平均の時間配分状況と同様の傾向となっている。

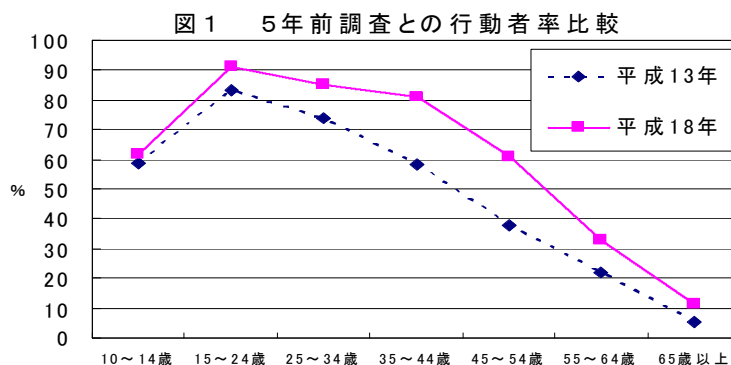
## ○ 結果の詳細

### 〈生活行動に関わる項目〉

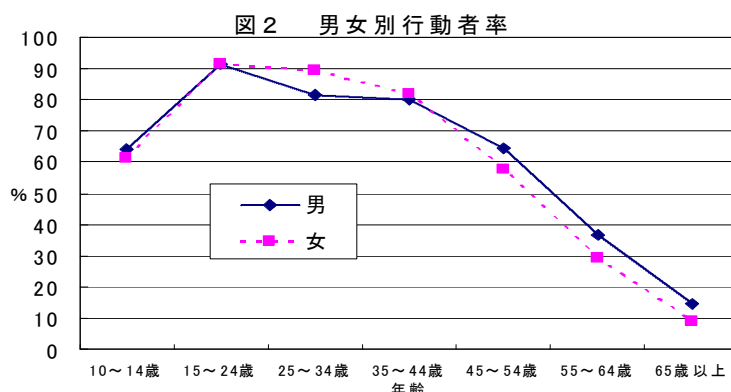
#### 1. インターネット

#### 男性の58%、女性の52%が利用し、インターネットが生活に浸透

○ 「インターネット」を利用した人は429,000人で、行動者率は54.9%となった。平成13年調査と比較すると、10.4ポイント上昇し、すべての年齢階級において上昇している。(図1)



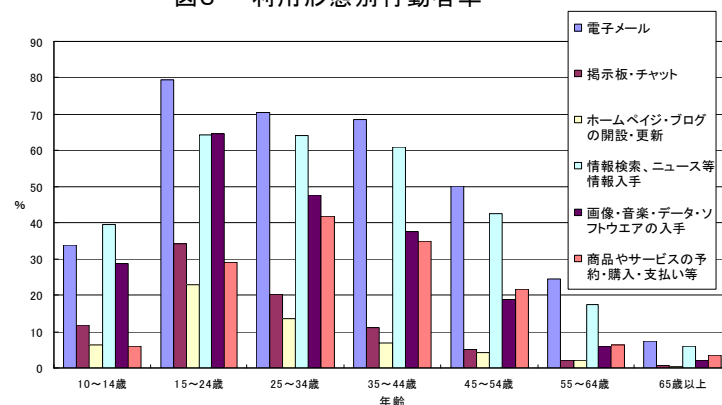
○ 男女別に見ると、男性の行動者率は58.0%、女性の行動者率は、52.1%となり、男性の方が女性よりも5.9ポイント高くなっている。さらに年齢階級別に分けると、24歳までの若年階級では男女ともほぼ拮抗しているが、25~44歳の2階級で女性が男性を上回り、45歳以上ではいずれも男性の方が高くなっている。(図2)



#### 44%の人が電子メールなどの「情報交換」に、38%の人が「情報収集」で利用

○ 利用の形態別に見ると、電子メールなどの「情報交換」に利用した人が44.1%、情報検索やニュース等の情報入手など「情報収集」に利用した人が38.1%、「画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手」が25.6%、「商品やサービスの予約・購入・支払い」が19.7%、「掲示板やチャット」が10.4%、「ホームページ、ブログの開設・更新」が6.9%となっている。

図3 利用形態別行動者率



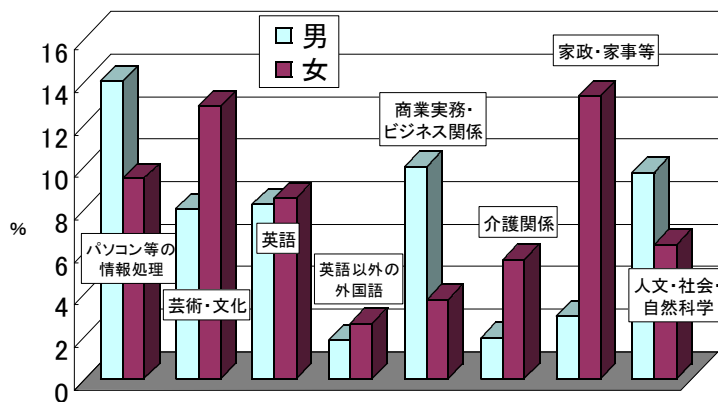
○ 年齢階級別に見ると、「情報交換」「情報収集」については、15~44歳の3階級で高く、「画像や音楽データ等入手」では、15~24歳部分が高く、「商品やサービスの予約・購入・支払い」では、25~34歳部分が高くなっている。(図3)

## 2. 学習・研究

### 男性はパソコン、女性は「芸術・文化」と「家政・家事」の行動者率が高い

- 「学習・研究」を行った人は271,000人で、行動者率は34.7%となっている。
- 男女別に見ると、男性が33.4%、女性が35.9%で女性の方が2.5ポイント上回っている。男性では「パソコン等の情報処理」が14.0%と最も高く、次に「商業実務・ビジネス関係」が10.0%、「人文・社会・自然科学」が9.7%、「英語」が8.2%の順になっている。一方、女性では、「家政・家事」が13.3%と最も高く、ついで「芸術・文化」が12.8%、「パソコン等の情報処理」が9.4%、「英語」が8.5%となっている。(図4)

図4 内容別行動者率



## 3. スポーツ

### 前回調査を下回る低調な行動者率

- 何らかのスポーツを行った人は507,000人で、行動者率は、64.9%となっている。平成13年調査と比較すると、ほとんどの年齢階級で行動者率は低下している。(図5)
- 男女別では、男性70.6%、女性で59.5%と、男性が大きく上回っている。
- 行動者率の高いスポーツの種類は、「ウォーキング・軽い体操」が33.1%、「ボウリング」19.8%、「水泳」12.4%の順となっている。平成13年調査との比較でも、サッカーを除いてほとんどのスポーツで行動者率は低下している。(図6)

図5 5年前調査との行動者率比較

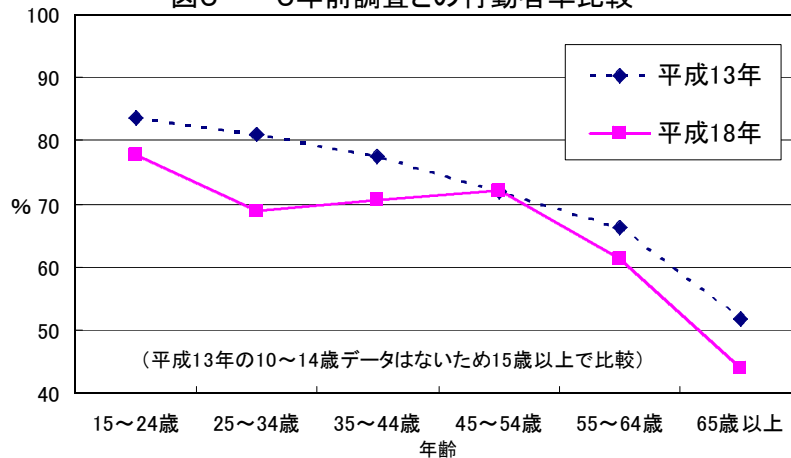
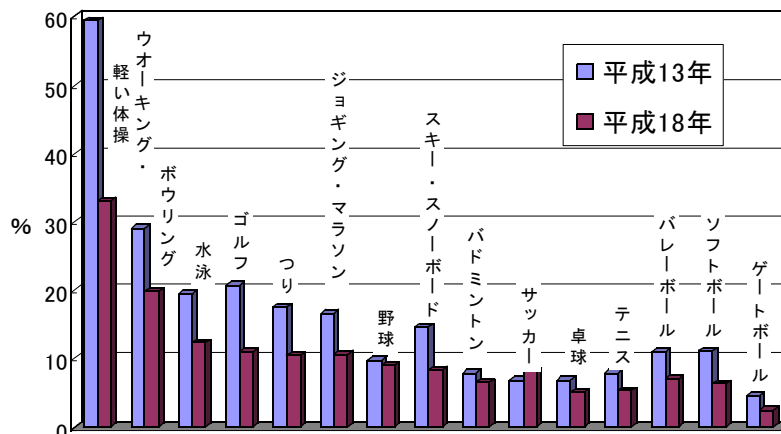


図6 スポーツ種類別行動者率



#### 4. 趣味・娯楽

##### 圧倒的に支持される「音楽鑑賞」と「映画鑑賞」

- 「趣味・娯楽」の行動者数は652,000人で、行動者率は83.4%となっている。行動者率の高いものは、「音楽鑑賞」46.3%、「映画鑑賞」41.8%、「趣味としての読書」37.2%が、上位3項目である。
- 行動者率を年齢階級別に見ると、10～14歳部分では「テレビゲーム・パソコンゲーム」、15～54歳の4階級では、「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」、55歳以上の2階級では、「園芸・庭いじり・ガーデニング」がそれぞれ第1位となっている。

表1 年齢階級別項目別行動者率上位3項目

	1 位	2 位	3 位
10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム (家庭で行うもの、携帯用を含む)	DVD・ビデオ等による映画鑑賞 (テレビからの録画は除く)	趣味としての読書
15～24歳	CD・テープ・レコード等 による音楽鑑賞	DVD・ビデオ等による映画鑑賞 (テレビからの録画は除く)	テレビゲーム・パソコンゲーム (家庭で行うもの、携帯用を含む)
25～34歳	CD・テープ・レコード等 による音楽鑑賞	DVD・ビデオ等による映画鑑賞 (テレビからの録画は除く)	遊園地・動植物園・水族館等の 見物
35～44歳	CD・テープ・レコード等 による音楽鑑賞	DVD・ビデオ等による映画鑑賞 (テレビからの録画は除く)	遊園地・動植物園・水族館等の 見物
45～54歳	CD・テープ・レコード等 による音楽鑑賞	DVD・ビデオ等による映画鑑賞 (テレビからの録画は除く)	園芸・庭いじり・ ガーデニング
55～64歳	園芸・庭いじり・ ガーデニング	趣味としての読書	CD・テープ・レコード等による 音楽鑑賞
65歳以上	園芸・庭いじり・ ガーデニング	趣味としての読書	カラオケ



## 5. ボランティア活動

### 前回調査を下回る低調な行動者率

- 何らかの「ボランティア活動」を行った人は236,000人で、行動者率は30.2%となっている。平成13年調査と比較すると、年齢階級別に分けた場合、すべての階級において、行動者率は低下している。

(図7)

- 男女別に見ると、男性の行動者率は、30.5%、女性の行動者率は、30.0%でほぼ拮抗している。年齢階級別に分けると、男性では10～14歳と45～54歳、女性では10～14歳と35～44歳部分が高く、男女ともに、25～34歳部分を底に、概ね同じ傾向となっている。(図8)

図7 5年前調査との行動者率比較

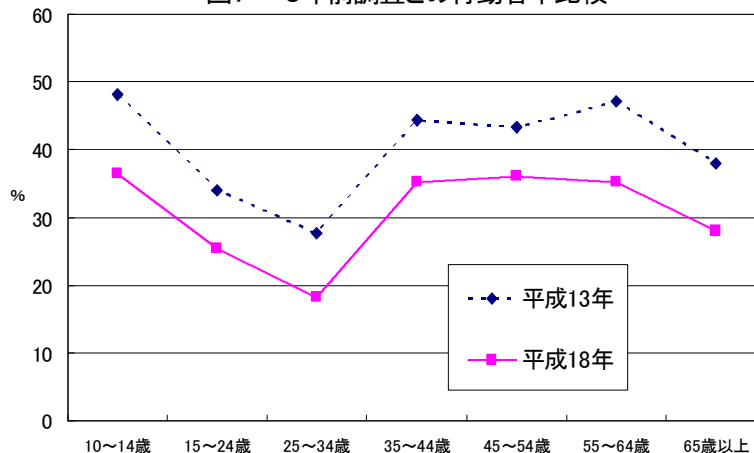
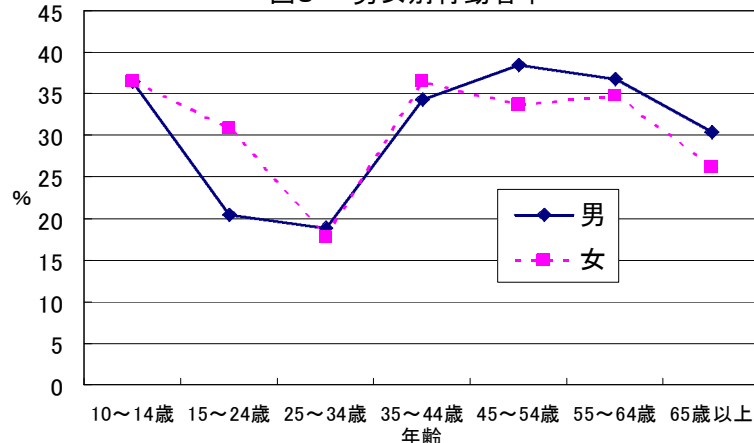


図8 男女別行動者率



## 6. 旅行・行楽

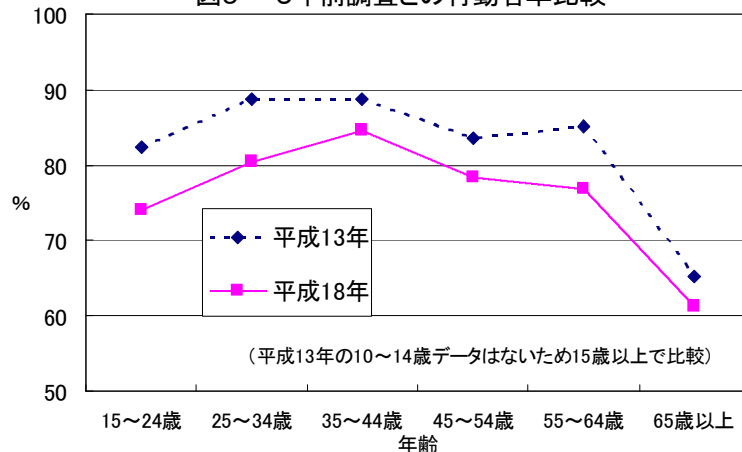
### 全ての年齢階層で行動者率が低下

- 「旅行・行楽」を行った人は、587,000人で、行動者率は75.2%となっている。平成13年調査と比較すると、行動者率は全ての年齢階級において下回っている。

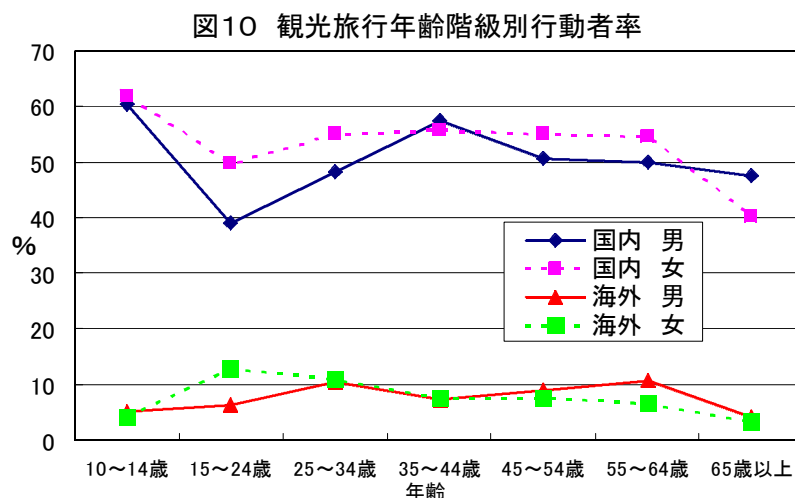
(図9)

- 「国内観光旅行」の行動者率は、50.3%で、平成13年調査よりも7.4ポイント低下している。
- 年齢階級別、男女別に見ると、15～24歳部分に若干の落ち込みがあり、総じて女性の方が男性を上回っている。(図10)

図9 5年前調査との行動者率比較



- 「海外観光旅行」の行動者率は7.4%で、平成13年調査よりも2.7ポイント低下している。
- 年齢階級別、男女別では、15～24歳部分で女性が男性の2倍の行動者率、55～64歳部分で男性が女性を上回っている他は、際だった差は見られない。
- 「海外観光旅行」は、「国内観光旅行」と比較して、まだまだ行動者率は低い。(図10)



## 〈生活時間に関わる項目〉

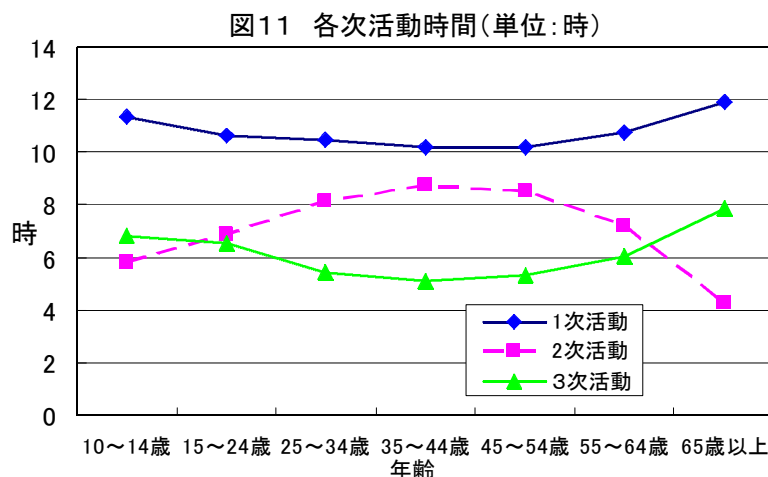
### 7. 一日の生活時間

#### 2次活動時間が増加し、3次活動時間は減少

- 1次活動時間は10時間50分、2次活動時間は6時間56分、3次活動時間は6時間14分である。
- 平成13年調査と比較すると、1次活動時間は横ばい、2次活動時間は増加し、逆に3次活動時間は減少している。いずれも、男性の数値の増減が影響している一方で、女性は2次、3次活動ともに変化率は小さい(表2)
- 年齢階級別の各次活動時間については、1次活動時間は、55～64歳から増加している。一方、2次活動時間は、35～44歳部分を最高に65歳以上で最低となっている。3次活動時間は、35～44歳部分を底に10～14歳部分と65歳以上の両端で増加している。(図11)

表2 一日の生活時間(10歳以上)(単位:時間・分)

	1次活動		2次活動		3次活動	
	H13	H18	H13	H18	H13	H18
平均	10.52	10.50	6.45	6.56	6.23	6.14
男	10.45	10.46	6.35	6.52	6.40	6.22
女	10.59	10.54	6.54	6.59	6.07	6.07



## 8. 睡眠時間

### 前回調査と比較して変化なし

- 1次活動時間の中の「睡眠時間」は、男女平均（週全体）で7時間51分であり、平成13年調査との比較では、ほぼ変化は見られず、男女別では、男性の方が18分睡眠時間が長い。
- 曜日別では、平日よりも日曜日の方が長時間の睡眠をとっている。

表3 曜日別睡眠時間（10歳以上）（単位：時間・分）

	週全体		平 日		日曜日	
	H13	H18	H13	H18	H13	H18
平均	7.52	7.51	7.43	7.44	8.25	8.25
男	8.00	8.01	7.51	7.53	8.35	8.38
女	7.44	7.43	7.35	7.35	8.15	8.13

## 9. 仕事時間

### 大幅に増加した仕事時間

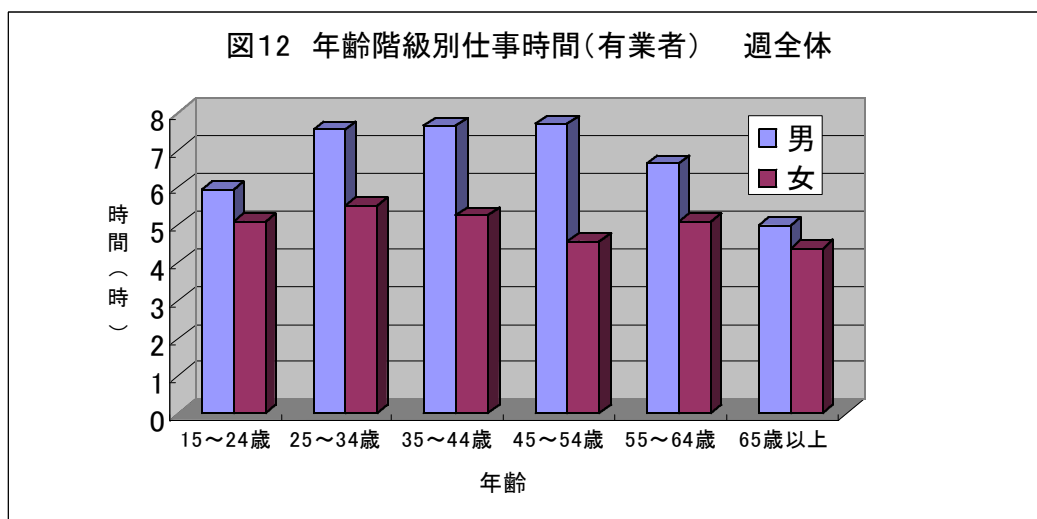
- 2次活動の中の「仕事時間」は、男女平均（有業者、週全体）で6時間7分である。
- 男女別では、男性が7時間1分、女性が4時間59分となっていて、いずれも平成13年調査よりも大幅に増加している。
- 曜日別では、日曜日の女性には変化がないが、平日の男女と日曜日の男性が大幅に増加している。

表4 曜日別仕事時間（有業者）（単位：時間・分）

	週全体		平 日		日曜日	
	H13	H18	H13	H18	H13	H18
平均	5.40	6.07	6.30	7.10	2.33	2.41
男	6.30	7.01	7.30	8.12	2.43	2.58
女	4.37	4.59	5.14	5.53	2.19	2.18

## 年齢階級別では、男性25～54歳、女性25～34歳が高い

- 男性の25～34歳部分からの3階級部分で仕事時間が長く、7時間を超えている。女性はどの階級でも男性より短く、25～34歳と55～64歳部分で高くなっている。



## 10. 家事関連時間

### 男女間に大きな差はあるが縮小傾向

- 2次活動の中の家事関連時間(家事、介護・看護、育児、買い物等)は、男女平均(週全体)で2時間2分で、平成13年調査と比べると6分増加している。男性は36分で10分の増加、女性は3時間25分で2分増加していて、平成13年調査よりも男女差は縮小している。
- 曜日別の比較では、平日には男女ともに増加していて、日曜日には男性は増加しているが、女性は減少している。

表5 曜日別家事関連時間(10歳以上)(単位:時間・分)

	週全体		平日		日曜日	
	H13	H18	H13	H18	H13	H18
平均	1.56	2.02	1.51	1.58	2.11	2.10
男	0.26	0.36	0.19	0.30	0.46	0.54
女	3.23	3.25	3.19	3.23	3.32	3.22

## 1 1. 自由活動時間

### 休養・くつろぎの時間が増加

- 3次活動時間は、全体（男女平均）で6時間14分で、平成13年調査と比較して9分の減少である。その中で「新聞・雑誌・テレビ等の購読・鑑賞」は最も時間が長く、男女平均（週全体）で2時間20分、次は「休養・くつろぎ」で1時間28分、3番目が「趣味・娯楽」で39分となっている。
- 「新聞・雑誌・テレビ等の購読・鑑賞」は、平成13年調査と比較すると減少し、その一方「休養・くつろぎ」は増加している。「趣味・娯楽」は横ばいである。
- 男女別では、「新聞・雑誌・テレビ等の購読・鑑賞」がともに減少、「休養・くつろぎ」がともに増加しているのに対し、「趣味・娯楽」は、男性は減少し女性は増加している。

表6 3次活動時間（10歳以上） （単位：時間・分）

	週全体							
			新聞・雑誌・テレビ等		休養・くつろぎ		趣味・娯楽	
	H13	H18	H13	H18	H13	H18	H13	H18
平均	6.23	6.14	2.30	2.20	1.20	1.28	0.38	0.39
男	6.40	6.22	2.40	2.24	1.21	1.26	0.46	0.43
女	6.07	6.07	2.22	2.16	1.19	1.30	0.31	0.36

## 1 2. 全国平均値との比較

### 全国より長い1次活動、短い2次活動と3次活動 [ ]は全国平均

- 1次活動時間（男女平均）は10時間50分〔10時間37分〕、2次活動時間（有業者：男女平均）は8時間21分〔8時間33分〕、3次活動時間（男女平均）は6時間14分〔6時間23分〕となっている。
- 1次活動時間は、全国平均より13分長く、その中で「睡眠時間」も9分長くなっている。一方、2次活動時間は12分短く、その中の仕事時間は2分短い。3次活動時間も9分短く、その中で「テレビ等鑑賞」も4分短い。
- 男女別の比較でも、男女平均の時間配分とほぼ同様の傾向を示している。

表7 生活時間の配分（10歳以上・週全体）（単位：時間・分）  
 （中段「2次活動」と「仕事」については有業者）

	平均		男		女	
	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国
1次活動	10.50	10.37	10.46	10.31	10.54	10.42
睡眠	7.51	7.42	8.01	7.49	7.43	7.35
2次活動	8.21	8.33	8.12	8.27	8.32	8.42
仕事	6.07	6.09	7.01	7.00	4.59	5.00
3次活動	6.14	6.23	6.22	6.31	6.07	6.15
テレビ等	2.20	2.24	2.24	2.28	2.16	2.21